



● 発行元 ●
日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

— 令和5年 新春号 —



明日は青空

院長補佐 久道晴美

乳児院に異動して3回目のお正月を迎えました。私が乳児院に来たのは、新型コロナウイルスが流行し始めたところです。子どもたちには(職員にも)未だマスクの顔しかみせていません。

感染防止対策により、これまで行っていた『抱っこボランティア』もいまだに中止しています。また、保護者の面会においてもワクチン接種やPCR検査の実施をお願いするなど、ご負担をおかけしています。

できるだけ家庭的な経験を子どもたちができるように『にこにこハウス(小規模棟)』の利用も行っています。遊び・片づけ・食事の準備・食事・昼寝など積極的に活動することができています。また、晴れの日には、人混みを避けて散歩し、落ち葉や、小枝をお土産に持ってきてくれます。

今年も引き続き乳児院の理念にある『子どもたちの安全、安心』を目標に職員全員で関わっていきたいと思っています。また、児童相談所や地域と連携を図り保護者支援、里親支援に努めてまいります。

写真は、昨年11月14日(月)に乳児院から見た風景です。どんよりとした空に虹がかかっています。よく見ると、虹の上にもう一つ大きな虹がかかっていました。なかなか不安定な世の中ですが、その中に元気な子どもの虹がくっきり、それを守るように大きな(大人の)虹がいるんだなあと感じました。翌日、同じ場所で撮った写真は、きれいな青空でした。『明日は青空!』

そう信じています。これからも笑顔の絶えない乳児院でありたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



<富山県立乳児院ってどんなところ?>

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児(0~3歳まで)を保護者にかわって24時間養育する施設です。(児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。)



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お名前	
<10月>	森さん（富山県） 石井さん（神奈川県） （株）KANAYA 松井さん（富山県）
<11月>	竹下さん（富山県） 池田さん（埼玉県） 井関さん（富山県） 佐々木さん（秋田県） 上田さん（富山県） 株式会社アングス 廣岡さん（富山県）
<12月>	門司さん（東京都） 池田さん（埼玉県） 細川さん（富山県）

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 7:30～18:00
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)



利用料 1回2000円（昼食・おやつ代含む）
とやまっ子子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。

インフルエンザの感染が広がり、県内で新型コロナウイルスとの同時感染が懸念されています。どちらも基本的な予防対策は同じです。こまめな手洗い、屋内でのマスクの着用、部屋の換気など気を緩めず引き続き感染対策に気を付けていきましょう。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00

11月7日（月）すばらしい秋晴れの日、3名が七五三参りにでかけました。

平生と違い『怖いものなし』と進化し歩き回るAちゃん、体幹がしっかりしていると着付け中に絶賛されるも草履が苦手なBくん、困った顔をしていたのに、着物姿を称賛されて着替えたくないとするCくんです。

三者三様、道中のハプニングもありましたが、これまで無事に育ったことを感謝しこれからの健やかな成長をお祈りしました。

七五三



富山県里親支援機関事務局

里親になってみませんか

現在、富山では100人以上の子どもが家族と暮らせずにいます。

その子どもが多くが乳児院・児童養護施設で生活しています。

この子どもが、いつか家族のもとで暮らせるようになるまで、里親として、子育てを手伝ってくれませんか？

子どもはいつか大人になり、それぞれが家庭を持つ日が来ます。それまで子どもの心に温かい家族の温もりとたくさんの愛情でいっぱいにしてあげたいのです。

同じような思いの方がいらっしゃれば、富山県里親支援機関事務局までご連絡ください。

富山県里親支援機関事務局
電話 076-432-8137

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1 苦情解決責任者 | 久道 晴美（院長補佐） |
| 2 苦情受付担当者 | 荒川 智江子（事務長） |
| 3 苦情解決相談員 | 本間 一正、 岡田 芳美 |
| 4 苦情解決の方法 | 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受付ます。 |
| 5 苦情解決の連絡先 | 電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238 |

管理栄養士より

もぐもぐだより



クリスマス会の昼食は、アンパンマンの顔に見立てたオムライスでした。目の前に運ばれてくると「アンパンマン！！」と叫んで喜び子もいました。

アンパンマンの顔を見て顔のパーツから食べる子、卵のみ食べる子、ケチャップライスを頬張る子など、それぞれ楽しんで食べていました。

午後はいちごのクリスマスケーキを食べました。

終始ニコニコ顔の子どもたち♡次回も喜んでもらえるメニューを考えたいです。



これからの行事予定

2月

節分



3月

ひな祭り



12月21日(水)、乳児院ではクリスマス本番を前に、一足お先にクリスマス会を行いました。

『あわてんぼうのサンタクロース』『ジングルベル』の歌に合わせて、ノリノリでマラカスを鳴らしていました。

子どもたちが手に持っているマラカス、実は、秋に散歩に行き、拾ってきたどんぐりを使ってできた手作りのマラカスなのです。

そして、子どもたちの楽しい音を聞いて、サンタさんがやってきました。びっくりして泣いてしまう子どももいましたが、一人ひとりプレゼントを貰って遊び、嬉しい、楽しい表情がたくさん見られるようになりました。昼食はアンパンマンの顔のオムライス、おやつにはクリスマスケーキも食べて、お腹も心も満たされた一日になりました。

